女の園（1954）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　青春
製作国 日本
色彩 B&W
時間 137分
初公開日 1954/03/16

【解説】
　阿部知二の『人工庭園』を木下恵介が脚色・監督し映画化。全寮制の女子大学を舞台に、民主主義に隠れた日本の封建主義を描いた力作。京都にある正倫女子大学は、厳しい規律で女性を育成することで知られていた。新入生の出石芳江は恋人との文通を許されず、滝岡富子はテニス友達の男性との交際が発覚し停学処分となってしまう。しかし上級生の林野明子は学校の後援者の娘であるため、優遇されていた。ついに学生たちの不満が爆発、騒ぎを起こし、学生たちは罰を受ける。しかし芳江だけはなぜか軽い処分で済んだのだった。

【クレジット】
監督 木下恵介
製作 山本武
原作 阿部知二
脚本 木下恵介
撮影 楠田浩之
音楽 木下忠司
出演 高峰秀子
久我美子
高峰三枝子
岸恵子
東山千栄子
田村高広
田浦正巳
浪花千栄子
望月優子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.